

[江別市] 施策達成度報告書

政策 06 市民協働によるまちづくり

施策 01 自助・互助・公助のまちづくり

主管課 市民生活課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (24年度)	施策の課題 (24年度)
<p>地方分権・住民自治の考えのもと、市民と行政とが役割分担を図りながら、地域や行政運営上の課題解決にあたる状況へと変化している。</p> <p>市民一人ひとりの価値観やニーズが多様化し、行政単独での対応は難しくなっている。</p> <p>江別市自治会連絡協議会は、162の自治会、約3,000の班で組織され、地域的には、江別・野幌・大麻の3地区の連合会を中心に活動している。</p> <p>自治会活動は、役員の高齢化や長期化等により、地域によって活動内容に差が見られる。</p> <p>少子高齢化社会を迎え、地域交流や連携に対する市民の関心は高まってきている。</p>	<p>行政に求められる役割の中で、生活関連型サービスの比重が増えてきており、自治会やNPO、ボランティアなど、地域住民に身近で機動性のある担い手による課題解決や取組みが必要になってきている。</p> <p>市民協働の推進にあたっては、地域的な繋がりである「自治会活動」と、課題解決を目指した「NPOやボランティア活動」とが連携して展開していく必要がある。</p> <p>協働に関する活動がより活発化していくためには、自治会や市民活動団体等が行う活動に対する支援が必要である。</p> <p>NPOやボランティア活動などに関する情報収集を行うとともに、自治会、市民活動団体、行政が相互に働き掛けを行い、情報を共有し連携を強化していくことが必要である。</p>

施策の目的

自治会を中心にコミュニティ活動が活発に行われるとともに、市民・自治会・NPO・ボランティア・行政が協働してまちづくりを進めま

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、自治会、NPO、ボランティア、行政

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・コミュニティ活動が活発化され、地域課題を自ら解決していく。
- ・ボランティア・NPO活動が活発におこなわれ、市民と協働してまちづくりを進めていく。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
自治会・NPO・ボランティア等の活動によって、お互いに支え合っていると感じる市民割合	%	26.6	-	24.5	29.1	↗

施策の達成状況 (24年度)

前回調査と比較して、成果指標の「自治会・NPO・ボランティア等の活動によって、お互いに支え合っていると感じる市民割合」は4.6ポイント増加しており、また、各基本事業においても概ね順調に推移している状況にある。市民協働によるまちづくりの推進は、今後ますます重要となってくることから、引き続き自治会、市民活動団体等に対する支援を行うことにより、より一層の活動の活性化と全市民的な活動の広がりを図りたい。

施策事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	148,875	142,613	150,205
事業費(千円)	98,711	96,120	104,284
人件費(千円)	50,164	46,493	45,921

01 コミュニティ活動の支援と連携

基本事業の目的

市民が自治会活動に積極的に参加し、地域住民の協働意識と連帯感を高め、コミュニティ活動を活発にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、自治会

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

地域住民の連帯感が高まり、コミュニティ活動が活発化する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
自治会活動に参加している市民割合	%	63.6	-	58.2	66.2	↗
自治会の協働テーマの取組数	件	497	529	532	522	550

基本事業の達成状況 (24年度)

自治会活動に参加している市民割合は増加したが、自治会の協働テーマの取り組み（集団資源回収、花のある街並みづくり事業など）数は横ばいの状況となった。総会・役員会、集団資源回収、子ども育成事業など、実施率の高い事業等への参加が、各自治会において定着してきた一方で、役員の高齢化や未加入世帯への対応など、多くの課題を抱えている状況が続いていることから、今後も自治会及び市民にとって、負担感の少ない事業活動等の事例を研究・周知するなど、自治会活動に参加しやすい環境の醸成に努め、地域住民の連帯感の高まりと、コミュニティ活動の活発化を目指します。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	135,121	127,964	136,566
事業費(千円)	95,793	91,090	99,507
人件費(千円)	39,328	36,874	37,059

02 市民活動団体の支援と相互連携

基本事業の目的

NPOやボランティアをはじめとした市民活動に関わる人材や団体を支援するとともに、自治会・市民活動団体・行政が相互に連携しながら、市民協働によるまちづくりを行います。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、自治会、NPO、ボランティア、行政

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民主体でまちづくりをおこなう組織と人材が育成され地域活動が活発化する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
NPOやボランティアをはじめとした、市民活動団体の活動に参加している市民割合	%	9.8	-	10.1	10.1	↗
江別市と市民活動団体等の協働事業数	件	98	115	127	122	110
自治会と市民活動団体等との連携事業数 【初期値(H19) 前期4年間 27事業(累計)】	事業(累計)	27	27	27	29	30

基本事業の達成状況 (24年度)

市民活動団体の活動に参加している市民割合は、横ばいの結果となったが、市と市民活動団体等の協働事業数は後期目標値を上回り、また、自治会と市民活動団体等との連携事業数は、自治会が抱える地域の課題を解決していこうとする協働事業の実施などもあり、着実に増加している状況にある。今後も、市内の協働事業推進の拠点である市民活動センター・あいと連携し、各活動団体の活性化と相互連携を進めていくとともに、市民や自治会等を巻き込んだ協働事業の実施を推進し、市民協働によるまちづくりの促進を図る。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	13,754	14,649	13,639
事業費(千円)	2,918	5,030	4,777
人件費(千円)	10,836	9,619	8,862